

やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター



芙蓉会

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

新年度早々から、診療報酬・介護保険の改定作業に取り組んでおります。数か月前には暗中模索であった解釈部分も、大部分において解消できつつあり、新たに設定された加算項目が当法人において対応可能な項目なのかどうかをしっかりと見極めているところです。

さて、ここ数年、私は年度初めの院内研修会を担当し、その時期にスタッフの皆さんに最も伝えたい事を毎年テーマにして話しております。今年は研修会のテーマとして、敢えて「H30 年度の事業計画」を選びました。法人内の幹部定例会等ではすでに説明をしておりましたが、やはり直接自分の言葉でスタッフ全員に伝えたい内容と考えたからです。今年度の計画は、

- ① H30.4 ダブル改定 ② 介護療養病床の転換
③ 事務局の統一 ④ 人事関連の整備

ここ数年の取り組みによって離職率の数値も良好となり手ごたえを感じている人事関連の整備ですが、今後の少子高齢化の影響を考えると、まだまだ継続した雇用環境の整備が、しかもこれまでの常識を覆したプランが必須です。中でも時間をかけて説明したかったのが、「今後のスタッフ層となり得る高年齢者、障害者、外国人労働者の雇用と、その能力に合わせた業務提供」でした。資格が無く経験の浅い方々の採用は、現場の意見として、どこの事業所、施設でも敬



遠されがちです。要因としては、教える・育成する時間が無いから…との声が多いのも事実です。研修会では、大幅な頭の切り替えと固定概念の払拭をお願いすると同時に、介護職の方々のレベル強化、手厚いフォロー、レベルに合わせた業務提供、業務の統一化を早期に着手する旨を説明しました。同時に、従来の永年勤続表彰の時期に合わせて人事考課に準じた表彰制度を新設することも発表し、モチベーションアップを図りました。

チャレンジする事への葛藤を認識しつつも、「成功の反対は、何もしないこと」そして、「新しい取り組みにもチャレンジにも、大切なのはパッション（情熱、感情）である。」と最後にやや熱めのメッセージを届けさせていただきました。法人全体で目指すべき理想郷の実現に向けて、邁進してまいります。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

院内職員研修会報告「終末期の医療について」

30 年 4 月開催 発表者 佐藤院長

エドワード・トルドー医師は、その著書の中に「時々治すことができ、しばしば和らげることができ、いつでも慰めることができる」と書いている。高齢者の医療に通じる言葉だ。

医師として「治す」事は大切だが、尊厳死を考えた時、いかにして患者様やご家族が望む終末を迎えるための医療的な手助けができるかという観点も大切になる。診断にAIが使われるこの時代、医療従事者には人間性が求められている。



院内職員研修会報告「平成 30 年度事業計画について」

発表者 理事長

- 内容
1. 平成 30 年 4 月 ダブル改定への対応
 2. 介護療養型の転換
 3. 事務局統一
 4. 人事関連の整備

170 床ある介護療養型を転換するため、法人として方向性を考え今後も検討していく。また、雇用環境の整備を進める。表彰制度の導入、新人介護職員のレベル強化、一定期間の研修と手厚いフォローの実践等、モチベーションアップと離職防止を図っていく事が必要。新しいことにもパッション（情熱・感情）を持って皆で取り組んでいく。



ふよう病院自衛消防隊が表彰

医療法人社団芙蓉会ふよう病院自衛消防隊は東京消防庁開庁 70 周年記念式にあわせて平成 30 年 3 月 13 日東京消防庁町田消防署において長年に亘る消防行政の円滑な推進と、東京消防庁の発展に多大な貢献をしたことに対して、町田消防署署長水野晋一消防監から表彰状が贈呈されました。

ふよう病院自衛消防隊は、業務終了後訓練に励み、毎秋開催される町田市自衛消防技術発表会に毎年参加して優秀な成績を収めて参りました。日頃から自衛消防活動体制の確立に努め、災害の防止と患者様ご利用者様職員の安全確保に努めて参りましたことが認められたものと自負しております。

今回の東京消防庁開庁 70 周年に伴う自衛消防隊の受賞隊は、東京消防庁管内で 94 隊、町田消防署管内におきましては、当院を含めた 2 隊であり、大変光栄であると同時に、受賞の重みを



感じております。この賞に恥じないよう今後も法人一丸となって災害の防止に努め、皆様方が、安心して当病院・施設をご利用頂けますよう＜防災は、日々ひとりひとりの心がけ＞を合言葉に引き続き尽力して参ります。

30 年 2 月院内職員研修会報告「医療安全について」

昨年 11 月に千葉県内で行われた、医療安全大会に参加した看護職員からの報告を行いました。

テーマは「医療コンフリクトマネジメント」です。これは、医療事故やトラブルが起こった時に、患者側、医療者側双方に生じた感情的混乱や人間関係の悪化、生活環境の変化などの様々な問題を、訴訟のように敵対的・限定的にではなく、当事者の双方又は第三者の介入による対話を通じて、可能な限り協働的かつ柔軟に解決していこうとする理念です。

「医療メディエーター」と呼ばれる第三者が、仲介役として入ります。千葉芙蓉病院では、この役割を事務長・看護部長が努めています、片方に偏らない客観的立場で行動する事が重要です。また、紛争の「事実」の解決よりもむしろ、当事者同士の感情面や人間関係の解決に注力する事が特徴です。



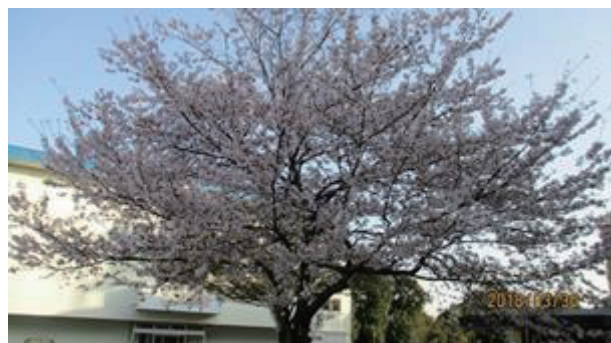
しかしながら、一番の目的は、事故を防止する事であり、日ごろから病院職員が患者様やそのご家族と円滑なコミュニケーションを取りながら、安楽な療養生活を送れるように援助していくことが何よりも大切と考えます。

千葉芙蓉病院 イベント報告

お花見

今年は暖かい日が続き、山桜も染井吉野も一斉に花開きました。日中の暖かい時間を選んで、患者様を戸外にお誘いしました。春の穏やかな空気につつまれ、ささやかですがお花見を楽しんでいただきました。

この後は、八重桜、ハナミズキ、新緑と、さまざまな色が楽しめる千葉です。



きゃらの樹ケアセンター イベント報告

デイケア食事紹介 海鮮ちらし

春らしい鮮やかな海鮮ちらし寿司を、通所リハビリのご利用者に提供しました。桜の花びらを思わせる桜でんぶ、菜の花に見立てた錦糸卵。そして、メインの鮮魚はご利用者の目の前にて包丁を入れ、見て楽しく、食べて



美味しい春のちらし寿司ができあがりました。磯の匂いが香り立つ、あおさのお味噌汁も一緒に提供させていただき「毎日でもいいわ」とおっしゃるご利用者もおられるほど、大好評を得ました。



通所ご利用者と一緒に作る いちご大福風スイーツ♪

おやつ時間にすいとん粉と白玉粉を使用した焼き生菓子を提供しました。もちより柔らかく、皮も薄いので召し上がりやすい大福です。ご利用者の皆様には、焼いた生地にあんこといちごをいれて丸める作業に参加していただきま



した。プロ顔負けの腕前の方もいらっしゃって、職員が作る大福よりおいしくみえました。今後も皆様と一緒に体験できるイベントを行っていききたいと思います。



ひな祭り行事

毎年恒例のひな祭り行事です。有志のご利用者に「お内裏様とお雛様」になっていただき館内を練り歩きます。拝見するだけでご利益がありそうで、他のご利用者からは羨望のまなざし



が向けられます。来年はどなたが当たるでしょうか。今回は 5 月に「目の前で揚げたての天ぷらで天そば」を準備してまいります。お楽しみに。



お花見

毎年ご当地の桜は、4 月の第 2 週ぐらいが満開となりますが、今年はとても早く 3 月中に満開を迎えました。急いで玄関前に、まずは芙蓉会の桜を見物、その後にリフト車両に乗って周辺の名所をまわりました。特に向郷地区の市営霊

園が圧倒的で、空を覆いつくすほどの桜花のトンネルを進むと異次元の世界です。（写真がないのが残念）来年は皆さんもぜひ訪れてみてください。



医療法人社団芙蓉会 きゃらの樹ケアセンター



見学随時受付中

〒292-0503 千葉県君津市広岡 375-3
TEL 0439-50-7333 FAX 0439-50-7399